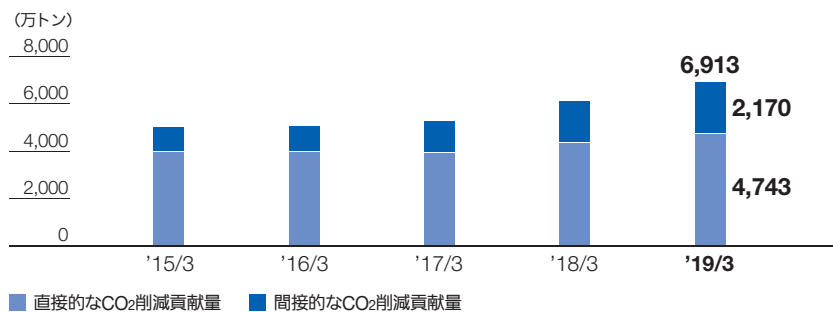


ESGハイライト

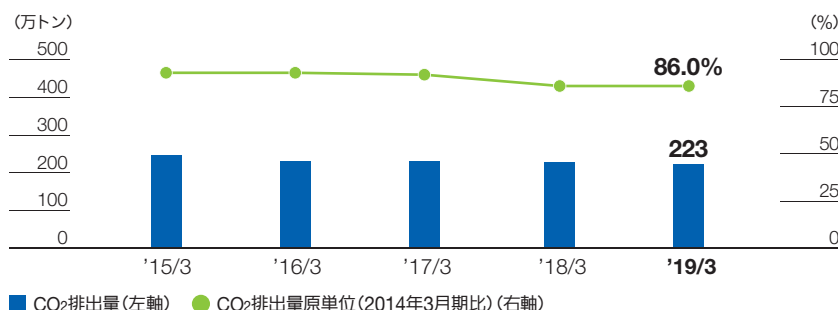
製品・サービスによるCO₂削減貢献量



2018年度に5,500万トン以上という目標を掲げ、製品・サービスによるCO₂削減貢献量の最大化に取り組んできました。照明のLED化の進展などにより、2018年度のCO₂削減貢献量は6,913万トンに増加し、目標を達成しました。

詳細：<https://www.panasonic.com/jp/corporate/sustainability/eco/co2.html>

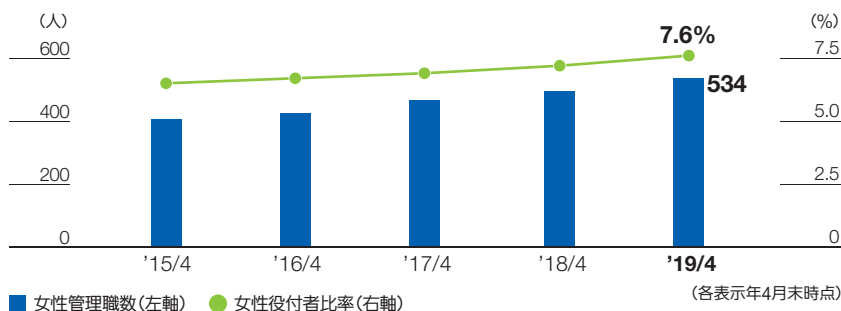
生産活動におけるCO₂排出量と原単位



2018年度のCO₂排出量原単位の目標を2013年度比で5%以上削減と掲げ、工場などで省エネ活動や再生可能エネルギーの利活用、導入を推進してきました。その結果、当年度の原単位は14%削減となり、目標を上回りました。

詳細：<https://www.panasonic.com/jp/corporate/sustainability/eco/co2/site.html>

女性管理職数／女性役付者比率

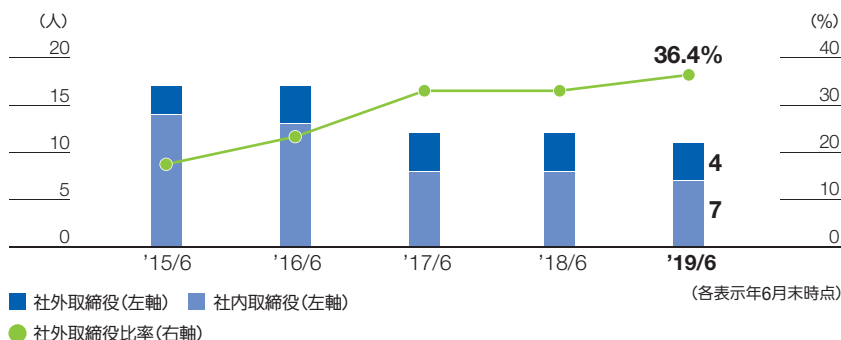


(注) パナソニック(株)および国内主要関係会社の管理職(課長クラス以上)と役付者(主幹と主務を含む)が集計対象です。

多様性推進は重要な経営施策のひとつであり、とりわけ日本では、上級の管理職や意思決定をする職位により多くの女性を登用する必要があると認識。各種施策で、女性管理職数、役付者比率ともに年々増加しています。

詳細：<https://www.panasonic.com/jp/corporate/sustainability/diversity.html>

取締役会構成員数／社外取締役比率



2016年度にコーポレート・ガバナンス強化策として取締役会の体制を大幅に見直しました。2019年6月末時点においては、取締役数は11名、社外取締役比率は36.4%となっています。

詳細：[「コーポレート・ガバナンスの体制と取り組み」](#)をご参照ください。

社外からの評価(2019年3月期)

パナソニックは、世界的なSRI(社会的責任投資)インデックスである「FTSE4Good Index Series」の構成銘柄に19年連続で選定されています。

また、世界的なESG投資インデックスである「MSCI ESG Leaders Indexes」(旧「MSCI Global Sustainability Indexes」)の構成銘柄に9年連続で選定されています。気候変動に対する取り組みや情報開示を評価する「CDP2018」で、8段階中2番目の「A-」評価を獲得しました。2014年度から「投資者にとって投資魅力の高い会社」で構成される新しい株価指数である「JPX 日経400」の構成銘柄に選定されています。さらに、2017年7月に新設された「FTSE Blossom Japan Index」「MSCI Japan ESG Select Leaders Index」の構成銘柄に組み込まれています。



FTSE4Good



FTSE Blossom
Japan



JPX-NIKKEI 400



THE INCLUSION OF PANASONIC Corporation IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF PANASONIC Corporation BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.